

環境調査結果のお知らせ

令和7年4月4日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なディクチオカ属が最高で 1 cell/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ディクチオカ 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)		
1 防波堤内側 (8m) 【10:29】	0	16.0	33.9	8.6	0	-
	2	16.1	34.0	8.6	0	-
	5	16.4	34.3	8.6	0	-
	10	16.3	34.3	8.5	0	-
	底層 14.5	16.3	34.4	8.2	-	-
A ガラク (15.7m) 【10:17】	0	16.2	34.3	8.7	0	-
	2	16.0	34.2	8.7	0	-
	5	16.1	34.2	8.4	0	-
	10	16.0	34.2	8.5	0	-
	底層 15	16.1	34.3	8.6	-	-
2 須崎木材工業団地 前 (4.3m) 【10:40】	0	16.5	34.1	8.6	0	-
	2	16.6	34.1	8.5	-	-
	5	16.6	34.2	8.5	0	-
	10	16.4	34.4	8.3	-	-
	底層 12	16.5	34.5	7.8	-	-
B 勢井 (8.9m) 【10:52】	0	16.3	32.9	8.8	0	-
	2	16.2	34.3	8.7	0	-
	5	16.2	34.3	8.3	0	-
	10	16.1	34.3	8.0	0	-
	底層 18	16.0	34.3	8.1	-	-
C 馬の背 (10.2m) 【10:59】	0	16.3	34.2	8.6	0	50
	2	16.2	34.2	8.5	0	60
	5	16.1	34.2	8.4	0	80
	10	16.1	34.3	8.3	0	10
	底層 22	16.2	34.4	7.5	-	-
D 大室戸 (12m) 【10:08】	0	16.2	34.3	8.7	0	-
	2	16.1	34.2	8.6	0	-
	5	16.0	34.2	8.5	0	-
	10	16.0	34.2	8.3	0	-
	底層 20	16.1	34.3	8.1	-	-
E 湾奥ブイ (9.2m) 【09:45】	0	16.2	34.3	8.3	0	10
	2	16.1	34.3	8.2	0	0
	5	16.0	34.3	8.2	0	40
	10	16.0	34.3	8.3	0	100
	底層 16.5	16.2	34.4	8.0	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ディクチオカ 属	珪藻
	(m)	(℃)		(mg/L)		
F 大谷漁港内 (5m) 【11:09】	0	16.6	34.3	8.4	1	-
	2	16.5	34.3	8.4	0	-
	5	16.4	34.3	8.3	0	-
	底層 6.5	16.4	34.3	8.3	-	-
3 タンボ (10.8m) 【09:58】	0	16.2	34.2	8.6	0	-
	2	16.1	34.2	8.6	0	-
	5	16.1	34.2	8.6	0	-
	底層 9.5	16.1	34.2	8.5	-	-
	10	16.1	34.2	8.4	0	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※ 3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキシサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

- ※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度
- ※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死 並びに 二枚貝の毒化が想定される密度
- ※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



1: 防波堤内側

A: ガラク

2: 須崎木材工業団地前

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 湾奥ブイ

F: 大谷漁港内

3: タンボ